

令和8年3月

## 第32回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第32回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 
- 2025年7～9月期(前期)の業況は「やや改善」。
  - 2025年10～12月期(今期)の業況は「やや改善」。
  - 2026年1～3月期の業況は「悪化」の見通し。
- 

### 業況 D.I.

○2025年7～9月期(前期)は▲15(良い<悪い)と、前々期(▲24)よりやや改善。

- 全体としては29期連続のマイナス。
- 前年同期(▲29)と比較すると、改善。
- 業種別では、運輸業(前々期▲63→前期▲20)、不動産業(前々期▲50→前期▲25)、宿泊・飲食業(前々期▲55→前期▲20)は大幅に改善、製造業(前々期▲26→前期▲13)は改善、建設業(前々期▲18→前期▲8)とやや改善したが、農水産業(前々期▲11→前期▲18)はやや悪化、卸売・小売業(前々期▲11→前期▲18)と情報通信業(前々期▲14→前期▲14)は大幅に下落した。

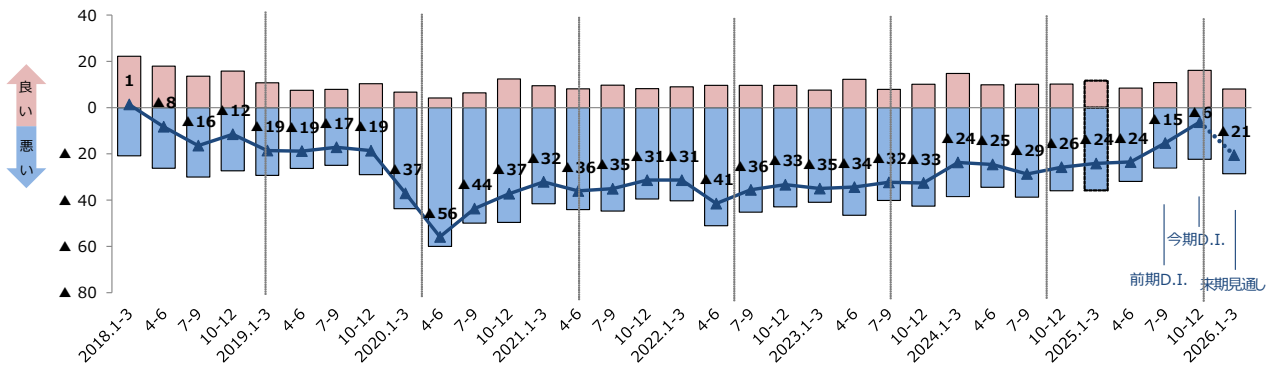
○2025年10～12月期(今期)は▲6(良い<悪い)と、前期(▲15)よりやや改善。

- 全体としては30期連続のマイナス。
- 前年同期(▲26)と比較すると、大幅に改善。
- 業種別では、運輸業(前期▲20→今期33)は大幅に改善、製造業(前期▲13→今期3)は改善、建設業(前期▲8→今期0)、農水産業(前期▲18→▲9)はやや改善したが、卸売・小売業(前期▲18→今期▲27)はやや悪化、情報通信業(前期▲14→今期▲29)は悪化した。

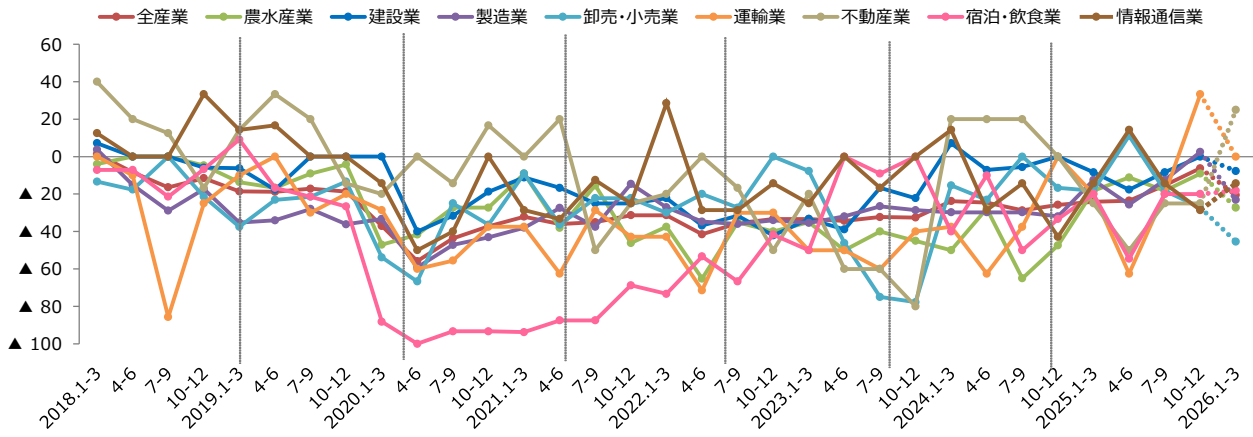
○2026年1～3月期(来期)は▲21(良い<悪い)と、今期(▲6)より悪化の見通し。

- 前年同期(▲24)と比較すると、やや改善。
- 業種別では、不動産業(今期▲25→来期25)は大幅に改善、情報通信業(今期▲29→来期▲14)は改善するが、建設業(今期0→来期▲8)はやや下落、農水産業(今期▲9→来期▲27)、卸売・小売業(今期▲27→来期▲45)は悪化、製造業(今期3→来期▲23)、運輸業(今期33→来期0)は大幅に下落する見通し。

## 業況 D.I.の推移



## 業種別業況 D.I.



※ 上記は、業況 D.I. 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○2025年7～9月期（前期）は▲15(良い&lt;悪い)と、前々期(▲24)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 全体としては29期連続のマイナス。</li> <li>➢ 前年同期(▲29)と比較すると、改善。</li> <li>➢ 業種別では、運輸業(前々期▲63→前期▲20)、不動産業(前々期▲50→前期▲25)、宿泊・飲食業(前々期▲55→前期▲20)は大幅に改善、製造業(前々期▲26→前期▲13)は改善、建設業(前々期▲18→前期▲8)とやや改善したが、農水産業(前々期▲11→前期▲18)はやや悪化、卸売・小売業(前々期11→前期▲18)と情報通信業(前々期14→前期▲14)は大幅に下落した。</li> </ul> <p>○2025年10～12月期（今期）は▲6(良い&lt;悪い)と、前期(▲15)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 全体としては30期連続のマイナス。</li> <li>➢ 前年同期(▲26)と比較すると、大幅に改善。</li> <li>➢ 業種別では、運輸業(前期▲20→今期33)は大幅に改善、製造業(前期▲13→今期3)は改善、農水産業(前期▲18→今期▲9)と建設業(前期▲8→今期0)はやや改善したが、卸売・小売業(前期▲18→今期▲27)はやや悪化、情報通信業(前期▲14→今期▲29)は悪化した。</li> </ul> <p>○2026年1～3月期（来期）は▲21(良い&lt;悪い)と、今期(▲6)より<u>悪化</u>の見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 前年同期(▲24)と比較すると、やや改善。</li> <li>➢ 業種別では、不動産業(今期▲25→来期25)は大幅に改善、情報通信業(今期▲29→来期▲14)は改善するが、建設業(今期0→来期▲8)はやや下落、農水産業(今期▲9→来期▲27)、卸売・小売業(今期▲27→来期▲45)は悪化、製造業(今期3→来期▲23)、運輸業(今期33→来期0)は大幅に下落する見通し。</li> </ul>
生 産 高 D.I.	<p>○前期は▲8(増加&lt;減少)と、前々期(▲26)より<u>改善</u>。</p> <p>○今期は3(増加&lt;減少)と、前期(▲8)より<u>改善</u>。</p>
売 上 ・ 完 工 高 D.I.	<p>○前期は▲8(増加&lt;減少)と、前々期(▲5)と<u>横ばい</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 業種別では、製造業(前々期▲21→前期5)は大幅に改善、宿泊・飲食業(前々期▲33→前期▲17)は改善したが、農水産業(前々期9→前期0)はやや下落、情報通信業(前々期0→前期▲14)は下落し、建設業(前々期5→前期▲15)、卸売・小売業(前々期36→前期▲17)、運輸業(前々期0→前期▲50)は大幅に下落した。</li> </ul> <p>○今期は1(減少&lt;増加)と、前期(▲8)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 業種別では、運輸業(前期▲50→今期14)は大幅に改善し、農水産業(前期0→今期17)は上昇、建設業(前期▲15→今期0)は改善した。</li> </ul> <p>○来期は▲14(増加&lt;減少)と、今期(1)より<u>下落</u>の見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 宿泊・飲食業(今期▲17→来期0)は改善の見通しだが、農水産業(今期17→来期9)はやや下落、建設業(今期0→来期▲14)と運輸業(今期14→来期0)は下落、情報通信業(今期▲14→来期▲29)は悪化、製造業(今期▲5→来期▲15)は大幅に下落、卸売・小売業(今期▲17→来期▲58)は大幅に悪化する見通し。</li> </ul>
製 品 ・ 商 品 在 庫 D.I.	<p>○前期の在庫の過不足感は「過剰」が12%、「適正」が75%、「不足」が12%、D.I.は1(不足&lt;過剰)となり、前々期(▲11)より<u>改善</u>。</p> <p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が13%、「適正」が75%、「不足」が11%、D.I.は2(不足&lt;過剰)となり、前期(1)と<u>横ばい</u>。</p>

概 況

<p>製(商)品販売単価 D.I.</p>	<p>○前期は 35(上昇&gt;下落)と、前々期(32)よりやや上昇。          ▶ 業種別では、卸売・小売業(前々期 45→前期 83)と宿泊・飲食業(前々期 8→前期 33)は大幅に上昇、建設業(前々期 33→前期 46)と製造業(前々期 24→前期 34)は上昇したが、農水産業(前々期 41→前期 26)は下落、運輸業(前々期 71→前期 20)と不動産業(前々期 50→前期 20)、情報通信業(前々期 14→前期▲14)は大幅に下落した。</p> <p>○今期は 34(上昇&gt;下落)と、前期(35)と横ばい。          ▶ 業種別では、運輸業(前期 20→今期 50)は大幅に上昇、建設業(前期 46→54)と宿泊・飲食業(前期 33→今期 42)はやや上昇したが、卸売・小売業(前期 83→今期 75)はやや下落し、農水産業(前期 26→今期 13)は下落した。</p> <p>○来期は 33(上昇&gt;下落)と、今期(34)と横ばいの見通し。          ▶ 業種別では、情報通信業(今期▲14→来期 0)は改善し、運輸業(今期 50→来期 60)と不動産業(今期 20→来期 33)は上昇する見通しだが、農水産業(今期 13→来期 9)と建設業(今期 54→来期 50)、製造業(今期 34→来期 28)はやや下落する見通し。</p>
<p>原材料仕入単価 D.I.</p>	<p>○前期は 65(上昇&gt;下落)と、前々期(69)よりやや下落。          ▶ 業種別では、卸売・小売業(前々期 55→前期 92)と宿泊・飲食業(前々期 75→前期 100)は大幅に上昇し、建設業(前々期 79→前期 85)はやや上昇したが、農水産業(前々期 59→前期 57)と製造業(前々期 66→前期 59)はやや下落、運輸業(前々期 100→前期 40)と不動産業(前々期 67→前期 40)、情報通信業(前々期 67→前期 17)は大幅に下落した。</p> <p>○今期は 65(上昇&gt;下落)と、前期(65)と横ばい。          ▶ 業種別では、農水産業(前期 57→今期 70)は上昇したが、卸売・小売業(前期 92→今期 83)と宿泊・飲食業(前期 100→今期 92)はやや下落し、運輸業(前期 40→今期 17)は大幅に下落した。</p> <p>○来期は 65(上昇&gt;下落)と、今期(65)と横ばいの見通し。          ▶ 業種別では、運輸業(今期 17→来期 40)が大幅に上昇、情報通信業(今期 17→来期 33)は上昇、農水産業(今期 70→来期 78)と宿泊・飲食業(今期 92→来期 100)はやや上昇する見通しだが、建設業(今期 85→来期 79)と卸売・小売業(前期 83→今期 75)はやや下落、製造業(今期 59→来期 49)と不動産業(今期 40→来期 25)は下落する見通し。</p>
<p>資金繰り D.I.</p>	<p>○前期は▲24(楽&lt;苦しい)と、前々期(▲23)と横ばい。          ▶ 業種別では、運輸業(前々期▲38→前期▲17)は大幅に改善、建設業(前々期▲16→前期 0)は改善、製造業(前々期▲21→前期▲15)はやや改善したが、卸売・小売業(前々期▲9→前期▲17)と不動産業(前々期▲29→前期▲33)はやや悪化、農水産業(前々期▲24→前期▲39)と情報通信業(前々期▲14→前期▲29)は悪化した。</p> <p>○今期は▲25(楽&lt;苦しい)と、前期(▲24)と横ばい。          ▶ 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲50→今期▲42)はやや改善したが、建設業(前期 0→今期▲8)はやや下落し、製造業(前期▲15→今期▲18)はやや悪化、不動産業(前期▲33→今期▲50)は悪化した。</p> <p>○来期は▲28(楽&lt;苦しい)と今期(▲25)よりやや悪化の見通し。          ▶ 業種別では、情報通信業(今期▲29→来期▲14)は改善、製造業(今期▲18→来期▲15)はやや改善の見通しであるが、農水産業(今期▲39→来期▲43)はやや悪化、運輸業(今期▲14→来期▲33)は悪化、建設業(今期▲8→来期▲36)は大幅に悪化する見通し。</p>

概 況

雇用人員 D.I.

- 前期は▲43(過剰<不足)と、前々期(▲53)より改善。
  - 業種別では、建設業(前々期▲84→前期▲62)と製造業(前々期▲47→前期▲20)は大幅に改善、宿泊・飲食業(前々期▲58→今期▲42)は改善したが、卸売・小売業(前々期▲45→前期▲67)と不動産業(前々期▲29→今期▲50)、情報通信業(前々期▲43→前期▲71)は大幅に悪化した。
- 今期は▲50(過剰<不足)と、前期(▲43)よりやや悪化。
  - 業種別では、卸売・小売業(前期▲67→今期▲58)はやや改善したが、宿泊・飲食業(前期▲42→今期▲50)はやや悪化、建設業(前期▲62→今期▲77)と製造業(前期▲20→今期▲33)は悪化、運輸業(前期▲50→今期▲71)は大幅に悪化した。
  - 鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2025年12月の有効求人倍率は1.66倍となっている。12月の有効求人数(パート含む)は3,677人、有効求職者数(パート含む)は2,209人となっている。
- 来期は▲52(過剰<不足)と、今期(▲50)と横ばいの見通し。
  - 業種別では、建設業(今期▲77→来期▲71)と運輸業(今期▲71→来期▲67)はやや改善する見通しだが、製造業(今期▲33→来期▲38)はやや悪化、宿泊・飲食業(今期▲50→来期▲64)は悪化する見通し。

損益 D.I.

- 前期は▲18(好転<悪化)と、前々期(▲19)と横ばい。
  - 業種別では、宿泊・飲食業(前々期▲58→前期▲17)は大幅に改善、卸売・小売業(前々期▲18→今期▲8)と不動産業(前々期▲14→今期0)は改善、建設業(前々期▲16→前期▲8)はやや改善したが、運輸業(前々期▲50→今期▲57)はやや悪化、農水産業(前々期9→前期▲9)は下落、情報通信業(前々期0→前期▲29)は大幅に下落した。
- 今期は▲8(好転<悪化)と、前期(▲18)より改善。
  - 業種別では、運輸業(前期▲57→今期0)は大幅に改善、農水産業(前期▲9→今期4)と製造業(前期▲23→今期▲10)は改善、宿泊・飲食業(前期▲17→今期▲8)はやや改善したが、情報通信業(前期▲29→今期▲43)は悪化した。
- 来期は▲18(好転<悪化)と、今期(▲8)より悪化の見通し。
  - 業種別では、情報通信業(今期▲43→来期▲14)は大幅に改善する見通しだが、建設業(今期▲8→来期▲21)と製造業(今期▲10→来期▲21)、卸売・小売業(今期▲8→来期▲18)、宿泊・飲食業(今期▲8→来期▲25)は悪化し、農水産業(今期4→来期▲17)は大幅に悪化する見通し。

特別質問については、5人以上の従業者を雇用する事業所に調査を依頼し、有効回答を得た105事業所について集計した。

### 特別質問：中小事業者向けの国や県等の支援制度の活用に関する実態調査

(1) 経営上の課題と感じているものについて、

「人手不足の解消・人材確保」が58.1%で最も高く、次いで「従業員の賃上げ・労働条件の改善」が48.6%、「物価高騰（原材料、光熱水費等）への対応」（47.6%）の順となった。

(2) 課題に対する専門家や相談機関への相談の有無について、

「相談したことはない」が40.0%で最も高く、次いで「各種専門士業（税理士、会計士、社会保険労務士など）」が32.4%、「金融機関」（19.0%）の順となった。

(3) 課題解決に向けた国等の支援制度の活用状況について、

「知っているが、活用したことがない」が38.1%で最も高く、次いで「知っており、活用したことがある」が28.6%、「知らない」（20.0%）の順となった。

(4) 国等の支援制度を「知っているが、活用していない」又は「知らない」理由について、

「自社に合う制度がどれか分からない」が42.6%で最も高く、次いで「申請書類の作成が難しそうだと感じた」が31.1%、「どのような支援制度があるか、分からなかった（情報収集が困難）」（29.5%）の順となった。

(5) 今後の国等の支援制度の活用について、

「検討したい」が50.5%で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が30.5%、「検討する予定はない」（9.5%）の順となった。

(6) 「鹿屋市産業支援センター」の認知度について

「知っていた」が45.7%、「知らなかった」が43.8%となった。

(7) 鹿屋市産業支援センターの利用意向について、

「どちらでもない」が48.6%で最も高く、「そう思う（「現在も利用している」を含む）」が29.5%、「思わない」（8.6%）の順となった。

(8) 産業支援センターを利用したいと「思わない」又は「どちらでもない」とした理由について、

「すでに相談先があるから」が43.3%で最も高く、次いで「自分で情報収集や手続きができるから」が21.7%、「その他」（18.3%）の順となった。

(9) 鹿屋市奨学金返還支援補助金の認知度について、

「知っている」が12.4%、「知らなかった」が79.0%となった。

(10) 鹿屋市奨学金返還支援補助金の活用について

「現時点では活用を考えていない」が65.7%と最も高く、次いで「活用を検討したい」が7.6%、「関心はあるが、現時点では未定」（17.1%）の順となった。

(1 1) 補助金の「活用を検討したい」または「関心はあるが、現時点では未定」と回答した理由について、

「若年層の採用につながると考えるため」が 65.4%で最も高く、次いで「補助金により、費用負担が軽減されるため」が 42.6%、「従業員の定着率向上が期待されるため」(38.5%) の順となった。

(1 2) 補助金を「現時点では活用を考えていない」と回答した理由について、

「他の人材確保策(例：給与水準、社内研修等)を優先しているため」が 30.4%で最も高く、次いで「従業員間の公平性が保てなくなるため」が 27.5%、「補助金を活用しても、費用負担が大きいと考えるため」(24.6%) の順となった。

【調査概要】

- 1 調査対象： 市内事業所 175 先  
〔 農水産業 33 先、建設業 22 先、製造業 54 先、卸売・小売業 19 先  
不動産業 9 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 〕  
回答数：121 件 回答率：69.9%
- 2 調査時期： 2026 年 1～2 月
- 3 対象期間： 2025 年 7～9 月期実績(前期)  
2025 年 10～12 月期実績(今期)  
2026 年 1～3 月期見通し(来期)
- 4 調査方法： 郵送・オンライン方式
- 5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。  
例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。
- 6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、前期損益の好転・悪化要因、今期損益の好転・悪化要因、自由意見、特別質問  
(「中小事業者向けの国や県等の支援制度の活用に関する実態調査」)

---

**鹿屋市 市長公室政策推進課**

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号  
T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001  
m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

第32回 鹿屋市短期経済観測調査 (か)のや短観) 結果

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。

(単位: %)

項目	2025年4~6月				2025年7~9月				2025年10~12月				2026年1~3月				
	前々期				前期				今期				来期見通し				
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	
<b>自社の業況(景況感)</b>	8	60	32	▲24	11	63	26	▲15	▲23	16	62	22	▲6	8	63	29	▲21
農水産業	11	67	22	▲11	5	73	23	▲18	▲22	9	73	18	▲9	5	64	32	▲27
建設業	6	71	24	▲18	0	92	8	▲8	0	8	83	8	0	8	77	15	▲8
製造業	7	60	33	▲26	15	58	28	▲13	▲36	20	63	18	▲3	5	67	28	▲23
卸売・小売業	33	44	22	▲11	18	45	36	▲18	0	18	36	45	▲27	0	55	45	▲45
運輸業	0	38	63	▲63	0	67	20	▲20	▲57	33	67	0	▲33	20	60	20	0
不動産業	0	50	50	▲50	25	25	50	▲25	▲40	25	25	50	-	▲25	50	25	25
宿泊・飲食業	0	45	55	▲55	20	40	40	▲20	10	20	40	40	-	▲20	9	64	27
情報通信業	14	86	0	▲14	0	86	14	▲14	▲29	0	71	29	▲29	14	57	29	▲14
<b>生産高(製造業)</b>	14	45	40	▲26	20	53	28	▲8	▲32	25	53	23	▲3	13	64	23	▲10
<b>売上・完工高</b>	24	46	30	▲5	18	57	25	▲8	▲17	23	54	23	▲1	14	59	27	▲14
農水産業	32	45	23	▲9	22	57	22	▲0	▲15	30	57	13	▲17	27	55	18	▲9
建設業	32	42	26	▲5	8	69	23	▲15	0	8	85	8	0	7	71	21	▲14
製造業	14	50	36	▲21	23	60	18	▲5	▲28	28	50	23	-	5	69	23	▲15
卸売・小売業	45	45	9	▲36	25	33	42	▲17	0	25	33	42	-	▲17	0	42	▲58
運輸業	38	25	38	0	0	43	50	▲57	▲57	29	57	14	▲14	33	33	33	0
不動産業	14	57	29	▲14	17	50	33	▲17	0	17	50	33	-	▲17	33	17	▲17
宿泊・飲食業	17	33	50	▲33	17	50	33	▲17	0	25	33	42	-	▲17	17	67	17
情報通信業	14	71	14	0	0	86	14	▲14	▲29	0	86	14	-	▲14	0	71	29
<b>製品・商品在庫 (適正水準比)</b>	多い 9	妥当 71	少ない 20	▲11	多い 12	妥当 75	少ない 12	▲1		多い 13	妥当 75	少ない 11	▲2				
農水産業	9	55	36	▲27	9	83	9	▲0	0	9	78	13	▲4				
建設業	0	78	22	▲22	0	67	33	▲33	0	0	67	33	-	▲33			
製造業	15	68	17	▲2	18	74	8	▲8	10	15	79	5	-	▲10			
卸売・小売業	20	80	0	▲20	25	67	8	▲17	17	25	67	8	-	▲17			
運輸業	0	86	14	▲14	0	50	40	▲40	0	0	67	33	▲33	▲33			
不動産業	0	67	33	▲33	0	100	0	▲0	0	20	80	0	▲20	▲20			
宿泊・飲食業	0	83	17	▲17	0	100	0	▲0	0	0	100	0	-	0			
情報通信業	20	80	0	▲20	40	40	20	-	20	60	20	20	▲40	▲40			
<b>製(商)品販売単価</b>	上昇 38	横ばい 55	低下 6	▲32	上昇 37	横ばい 59	低下 3	▲35	▲28	上昇 39	横ばい 57	低下 4	▲34	上昇 38	横ばい 58	低下 4	▲33
農水産業	45	50	5	▲41	30	65	4	▲26	19	26	61	13	▲13	22	65	13	▲9
建設業	50	33	17	▲33	46	54	0	▲46	47	54	46	0	▲4	50	50	0	▲50
製造業	29	67	5	▲24	37	61	3	▲34	18	37	61	3	-	34	67	3	▲28
卸売・小売業	45	55	0	▲45	83	17	0	▲83	69	75	25	0	▲75	75	25	0	▲75
運輸業	71	29	0	▲71	20	67	0	▲20	33	50	50	0	▲33	60	40	0	▲60
不動産業	67	17	17	▲50	20	80	0	▲20	33	20	80	0	-	20	33	67	▲33
宿泊・飲食業	17	75	8	▲8	33	67	0	▲33	9	42	58	0	▲42	42	58	0	▲42
情報通信業	14	86	0	▲14	0	86	14	▲14	20	0	86	14	-	▲14	14	71	14
<b>原材料仕入単価</b>	上昇 70	横ばい 28	低下 2	▲69	上昇 69	横ばい 28	低下 3	▲65	▲70	上昇 67	横ばい 30	低下 3	▲65	上昇 66	横ばい 32	低下 2	▲65
農水産業	64	32	5	▲59	65	26	9	▲57	80	70	30	0	▲70	78	22	0	▲78
建設業	79	21	0	▲79	85	15	0	▲85	80	85	15	0	-	85	79	21	▲79
製造業	68	29	2	▲66	64	31	5	▲59	64	62	36	3	-	59	51	46	▲49
卸売・小売業	55	45	0	▲55	92	8	0	▲92	75	83	17	0	▲83	75	25	0	▲75
運輸業	100	0	0	▲100	40	50	0	▲40	67	50	17	33	▲33	60	20	20	▲40
不動産業	67	33	0	▲67	40	60	0	▲40	60	40	60	0	-	40	25	75	▲25
宿泊・飲食業	75	25	0	▲75	100	0	0	▲100	64	92	8	0	▲92	100	0	0	▲100
情報通信業	67	33	0	▲67	17	83	0	▲17	67	17	83	0	-	17	33	67	▲33
<b>資金繰り</b>	楽 2	普通 72	苦しい 26	▲23	楽 3	普通 71	苦しい 26	▲24	▲20	楽 2	普通 72	苦しい 27	▲25	楽 3	普通 65	苦しい 32	▲28
農水産業	5	67	29	▲24	0	61	39	▲39	▲45	0	61	39	-	▲39	0	57	43
建設業	5	74	21	▲16	8	85	8	▲8	▲6	0	92	8	▲8	0	64	36	▲36
製造業	0	79	21	▲79	5	75	20	▲15	▲21	5	73	23	▲23	10	65	25	▲45
卸売・小売業	9	73	18	▲9	0	83	17	▲83	15	0	83	17	-	▲17	0	83	17
運輸業	0	63	38	▲38	0	71	17	▲71	▲43	0	86	14	▲14	0	67	33	▲33
不動産業	0	71	29	▲71	0	67	33	▲67	▲33	17	0	50	▲50	0	50	50	0
宿泊・飲食業	0	50	50	▲50	0	50	50	▲0	▲45	0	58	42	▲42	0	58	42	▲42
情報通信業	0	86	14	▲14	0	71	29	▲71	▲29	0	71	29	-	▲29	0	86	14
<b>雇用人員</b>	過剰 2	適正 44	不足 54	▲53	過剰 4	適正 48	不足 47	▲43	▲49	過剰 2	適正 47	不足 52	▲50	過剰 3	適正 43	不足 55	▲52
農水産業	0	50	50	▲50	0	52	48	▲48	▲38	0	52	48	-	▲48	0	52	48
建設業	0	16	84	▲84	0	38	62	▲62	▲75	0	23	77	▲77	0	29	71	▲71
製造業	5	44	51	▲47	8	65	28	▲20	▲46	5	58	38	▲33	8	48	45	▲38
卸売・小売業	0	55	45	▲45	0	33	67	▲67	▲38	0	42	58	▲58	0	42	58	▲58
運輸業	0	50	50	▲50	17	14	67	-	▲75	0	29	71	▲71	0	33	67	▲33
不動産業	0	71	29	▲71	0	50	50	▲0	▲17	0	50	50	-	▲50	0	50	50
宿泊・飲食業	0	42	58	▲58	8	42	50	▲42	▲50	0	50	50	▲50	0	36	64	▲64
情報通信業	0	57	43	▲43	0	29	71	▲71	▲57	0	29	71	-	▲71	0	29	71
<b>損益</b>	好転 12	横ばい 58	悪化 30	▲19	好転 13	横ばい 58	悪化 30	▲18	▲23	好転 17	横ばい 59	悪化 24	▲8	好転 12	横ばい 59	悪化 29	▲18
農水産業	27	55	18	▲9	17	57	26	▲9	▲23	22	61	17	▲4	13	57	30	▲17
建設業	5	74	21	▲16	8	77	15	▲8	0	0	92	8	-	▲8	0	79	21
製造業	9	60	30	▲21	10	59	33	▲23	▲34	15	59	26	▲8	8	64	28	▲21
卸売・小売業	18	45	36	▲18	25	42	33	▲18	0	25	42	33	-	▲8	18	45	36
運輸業	0	50	50	▲50	0	43	57	▲57	▲33	29	43	29	▲0	29	43	29	0
不動産業	0	86	14	▲14	33	33	33	▲0	▲17	33	33	33	-	0	33	33	0
宿泊・飲食業	8	25	67	▲58	8	67	25	▲17	▲25	17	58	25	▲8	8	58	33	▲25
情報通信業	14	71	14	▲14	0	71	29	▲71	▲43	0	57	43	▲43	14	57	29	▲14